

新刊案内 2009年9月発売：

BOPを変革する情報通信技術 バングラデシュの挑戦

グラミン銀行 総裁 ムハマド・ユヌス 序文

アシル・アハメッド / 大杉 卓三 編著



電気が通じていない農村で携帯電話を使う村人、電話線が整備されていない町で運営されるインターネットカフェ。開発途上国において、情報通信技術 (ICT) が農村部でも人々の身近に存在する風景は、ありふれたものになるようとしている。

本書の舞台であるバングラデシュをはじめとする開発途上国では BOP (Base of the Pyramid: 所得ピラミッドの底辺層) と呼ばれる貧困層が人口の多くの割合を占める。世界で 40 億人以上といわれる BOP を巨大なマーケットとして再定義し、持続的なビジネスを通して貧困削減に取り組む戦略が注目を集めている。BOP マーケットでは、社会的利益を最優先させ、BOP の人々が自ら取り組む「ソーシャル・ビジネス」が重要であり、そこに ICT は不可欠なツールとなっている。ICT を活用することで人々は適切な情報を入手し、またコミュニケーションは人々の連帯を実現する。その結果、自らの能力に自信を持ち、単なる消費者ではなく新たな富を創造する生産者ともなりうる。

本書は九州大学とグラミン・コミュニケーションズの共同研究の成果に基づき、バングラデシュにおいて ICT が導く社会経済の変革について具体的事例を綴ることで、そこに暮らす BOP の人々の姿を明らかにする。

注文書	集 広 舎		
	812-0035 福岡市博多区中呉服町 5-23 TEL 092-271-3767 FAX 092-272-2946		
書名	BOPを変革する情報通信技術 バングラデシュの挑戦	定価	部数
		1890 円 (本体 1800 円+税)	冊
ISBN 978-4-904213-06-3 C0036			
住所 (〒)	書店 記入欄		
氏名			

BOPを変革する情報通信技術 バングラデシュの挑戦

章立て

序文 グラミン銀行総裁 ムハマド・ユヌス

まえがき

序章 情報通信技術が導くバングラデシュの変革

第1章 BOPの人々に必要な情報コンテンツと情報通信技術

第2章 BOPの地域情報拠点としてのテレセンター

第3章 社会情報基盤の構築と大学の役割

第4章 バングラデシュに対する開発協力の動向

第5章 BOPの保健医療を改善する情報通信技術

第6章 バングラデシュの農業におけるICTの活用

あとがき

執筆者紹介

執筆者

アシル・アハメッド Ashir Ahmed 序章、第1章

九州大学大学院 システム情報科学研究所 特任准教授（九州大学 次世代研究スーパースター養成プログラム・SSP 研究員）、グラミン・コミュニケーションズ プロジェクトディレクター。

東北大学電気通信研究所 客員研究員、日本アバイア研究所（元ベル研）、NTT コミュニケーションズ先端 IP アーキテクチャセンターを経て2007年2月より現職。開発途上国における社会情報基盤構築に関する研究開発に取り組む。

大杉卓三 序章、第2章

九州大学大学院比較社会文化研究院 助教。

九州大学ベンチャービジネスラボラトリー、財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、九州大学大学院比較社会文化研究院 助手を経て2007年4月より現職。書籍：『情報ネットワークで結ぶシルクロード・国際開発協力にみる現代中央アジア-』中国書店（単著、2009年）など。

安浦寛人 第3章

九州大学 理事・副学長（産学連携・情報政策担当）、九州大学大学院システム情報科学研究所 教授。

飯島聡 第4章

九州大学 国際交流推進室 特任教授。元 JBIC（国際協力銀行）プロジェクト開発部長。

大谷順子 第5章

大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授、九州大学アジア総合政策センター 協力教員。元世界銀行、WHO（世界保健機関）。

カシフィア・アハメッド Kashfia Ahmed 第6章

WIN Incorporate CEO。東京農工大学で博士号を取得し現在はバングラデシュの WIN Incooperate において ICT を活用した農業コンテンツ開発に取り組む。